

石田 晃 先生御退職に寄せて

経済学会会長・経済学部長 鈴木 明 男

石田晃先生は、学問あるいは実務として一貫して統計研究に生涯を捧げてこられた。長らく国家公務員として国内でご活躍なされたのみならず、国際連合統計局や同アジア極東経済委員会統計部またはアジア太平洋統計研修所副所長を勤められるなど、その活躍の舞台は広く国際的に広がっておられる。

敬愛大学経済学部には平成6年4月より統計学総論の教授として就任され、ご専門領域の研究と学生の教育に情熱を傾けてこられた。

平成12年4月から経済学部長に就任されたが、折から学生の学力低下や少子化が問題となり、教育改革や入試の改善が喫緊の課題とされた。随分ご苦勞なされたことと拝察されるが、持前の真摯な姿勢でこの難問に立ち向かわれ、一步一步着実に解決なされていった。ただ、敬服のほかはない。今日、経済学部が一応の安定を保っていただけるのも、石田先生の余沢に依っている。

平成15年3月、ご退職されることとなった。ここに研究論集を「石田晃教授御退職記念号」として刊行し、敬愛大学に対する先生のご貢献に、心からなる感謝の意を表わすものである。